

行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	文化ホールの効率的な管理運営の検討			重点項目番号	4				
現状、問題点、必要性 (なぜやるのか)	【現状】 合併により、市内には5つの文化ホールがあり、上野文化ホールを(株)上野産業会館が、伊賀市文化会館・ふるさと会館いが・あやま文化センター・青山ホールの4館を文化都市協会が指定管理者となり管理運営を行っている。指定期間は平成18年度～平成22年度となっている。このうち、上野文化ホールについては、老朽化が著しいことから平成19年度をもって廃止している。 【問題点、必要性】 4つのホールについては、統一的な文化振興施策の推進を図りつつ各ホールの特徴を活かした事業展開を行っているが、管理経費の削減や住民満足度の視点からの費用対効果の検証などによる、さらなる管理運営の効率化が求められている。			番号	①				
				担当課(執行する課)	企画振興部文化国際課				
				責任者名(執行責任者)	文化国際課長 森本 勝美				
				担当課電話番号	22-9624				
対象等(なにが、だれが)	文化ホール			財政効果額(千円) (いくら削減されるのか、いくら収入増となるのか)	【金額】				
成果(対象がどうなるのか)	文化ホールとしてのサービス水準並びに住民満足度を低下させることなく、可能な限りの経費抑制を行うことができる。				【算定根拠】 ※現時点では、効果額は記載できない。				
実施する内容・目標数値 (対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか)	【実施内容】 マーケティング手法等の導入による新たなファン層の開拓など来場者数を増加させるための検討を行う。文化ボランティアの育成により親しみのある地域に根ざした文化施設となるための検討を行う。一体的な経費節減に向けた取組み及び管理組織のスリム化についての検討を行う。 【目標数値】 《最終目標》 次期指定管理者選定までに施設維持管理経費削減に係る具体策をまとめ、指定管理料算定に適用する。 《平成20年度の目標》 ホール検討組織で来場者数向上のための方策を検討・策定する。 《平成21年度の目標》 経費削減の一環として文化ボランティアによる運営支援方策を策定し、ボランティアの募集を開始する。 【目標の客観的な説明】 利用実績等の現状を考慮する必要があるが、過剰な施設数とならないように県内市や類似団体の数値を勘案し検討する。			特記事項					
目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目) (何をどれだけやるのか)	活動指標名	目標値	定義・算定式	行程表(いつまでにやるのか)					
				平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				4月	10月	4月	10月	4月	10月
	ホール運営組織での検討								
	* 来場者数向上のための方策を検討・策定		来場者数、初めて文化ホールを訪れた人の数、高齢者・障がい者等の社会的弱者の来場率向上のための方策を検討・策定する。	←→					
* 文化ボランティアによる運営支援方策の検討・策定		文化ボランティアによる運営支援方策を策定し、ボランティアの募集を開始する。			←→				
* 経費節減及び管理組織のスリム化のための検討		施設維持管理経費削減に係る具体策の検討・策定	←→						